

新年のごあいさつを申し上げます

新年あけましておめでとう
ございます。町民の皆さまに
は、輝かしい年をお迎えのこ
ととお慶び申し上げます。

昨年は、アベノミクスの景
気対策による緊急経済対策や
元氣臨時交付金で御船町の懸
案であった多くのハード事業
に着手でき、大変感謝してお
ります。

特に新恐竜博物館をはじ
め、街なかギャラリーやふれ
あい広場などの施設整備や町
道の舗装を中心とした市街地
の整備が進みました。

他にも国道445号の御船
インターから西往還までの区
間や九州中央自動車道「小
池・高山インター」が3月中
に供用開始（予定）するなど、
御船町が実際に九州の中心部
となるアクセスが確立されま
す。

ソフト事業では、県の夢
チャレンジ事業を活用した水
越地区の地域づくりや、御船
町5人の先哲委員会を立ち上
げ、宮部鼎蔵先生没後150

年祭の開催などのイベントを
企画中です。健康づくり関係
では「健康増進計画『健康い
きいきみふねプラン21』策定
委員会」と体育協会の合同主
催による「みふねいきいき
フェスタ2013」が開催さ
れ、町民と行政の共働による
「健康いきいき御船町」を目
指すきっかけになりました。

このように、昨年は御船町
の「人」や「地域」が活躍し、「モ
ノ」がつくられた1年であり
ました。

本年は、完成する「モノ」
を活用できるように、人と地
域、行政が連携し、町の観光
（観光元年）やボランティア
活動、企業誘致など行政とし
てサポートしていきたいと考
えています。

また、平成30年に九州中央
自動車道の小池・高山イン
ターから上野インター（仮
称）、北中島インター（同）
までの区間が開通の予定であ
り、東京オリンピックが開催
される平成32年には矢部まで

の区間が開通すると見込んで
います。今後は、中心部の人、
モノ、金等のエネルギーを山
間部へ繋ぎ、吉無田高原など
の自然環境や八勢眼鏡橋など
の文化財を活かした中山間地
域の活性化策について検討し
ます。

そして、来年1月に御船町
が誕生して60周年を迎えま
す。諸先輩方が築いて来られ
た御船町をさらに発展させる
ため、まちづくりの基本とな
る「御船町みんなでつくる町
の基本条例」をつくりあげま
す。地方自治法などの法令の
範囲内ですが、御船町のルー
ルを作り、より町民の皆さま
が活動しやすく、行政や議会
が機能を果たせる環境を構築
していきます。

最後に、今年一年が皆さま
にとりまして素晴らしい年で
あることをお祈りしまして新
年のあいさつとさせていただきます。

新年おめでとunggざいま
す。

町民の皆さまにはご健勝に
て、平成26年の新春を迎えら
れたことと心からお喜び申し
上げます。

また、日頃は町議会に対し
てご理解とご協力を賜り深く
感謝申し上げます。

振り返ってみますと、昨年
も激動の一年でした。国政に
おいては、先の衆議院選挙に
おいて自民党が大勝利し、又、
参議院選挙においても与党自
民、公明両党が大勝利、争点
となりました原子力発電所稼
働の是非をはじめ代替えエネ
ルギーの展望、消費税、TP
Pへの対応、道州制問題など
今後の日本の在り方を考える
大きな転換期であり、現在も
その真っ只中にあると感じて
います。平成24年12月に誕生
した安倍晋三内閣新政権下に
おきましては、長引く円高・
デフレ不況から脱却し、雇用
や所得の拡大を目指すことと
して、大胆な金融政策、機動

的な財政政策、又民間投資を
喚起する成長戦略のいわゆる
「三本の矢」の方針が示され
たところであります。

しかし、アベノミクスの経
済効果は一部の大企業や投資
家、又、それらが集中する都
市部に限定されており、まだ
町村を含む地域経済にまで及
んでいるとは言えない状況に
あります。

さて、御船町議会におきま
しては、議会改革の一つとし
て「町民とともに歩む議会」
「行動する議会」開かれた議
会」を大きな理念として、議
会基本条例を平成22年4月1
日から施行し、その中で通年
議会の取り組み、あおぞら会
議の開催、議決事件の追加及
び議会モニター・アドバイ
ザーの設置などを取り入れて
議会改革を推進してきまし
た。又、更なる議会改革とし
て、議員力を高めると共に議
員の資質向上を図るために
「政務活動費の交付に関する
条例」を平成25年12月の本会

更なる議会改革



御船町議会議長
岩田 重成

翔け！新生御船町



御船町長
山本 孝二